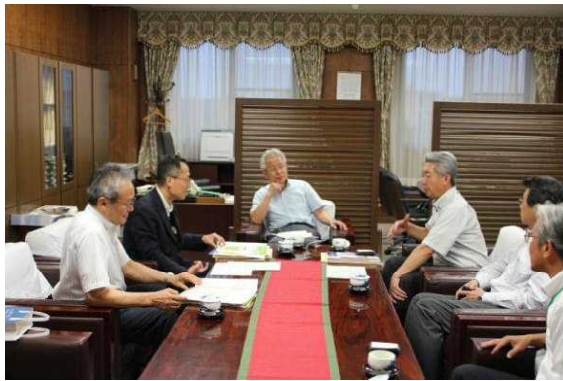


国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第370号 平成24年10月



文部科学省徳久政策評価審議官が本学を訪問，学内視察とともに教職大学院学生と懇談（関連記事6ページ）



「日韓教育実習プログラム」を韓国の京仁教育大学校・大邱教育大学校で実施（関連記事6ページ）



東日本大震災「復興支援ボランティア」の実施（関連記事8ページ）

目 次

- ◇学 事 ..... 2
  - ・平成25年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（8月選抜）合格者状況
- ◇人 事 ..... 3
  - ・人事異動
- ◇諸 報 ..... 3
  - ・国立大学法人兵庫教育大学役員会
  - ・国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会
  - ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会
  - ・連合学校教育学研究科代議委員会
  - ・連合学校教育学研究科教授会
  - ・小野市との連携講座「将棋で育む知の子育て」の開催
  - ・台湾教育部，国立台中教育大学，国立屏東教育大学等と兵庫教育大学との「教員養成制度に関する討論会」を開催
  - ・附属幼稚園愛園作業の実施
  - ・附属幼稚園と附属中学校の交流会を実施
  - ・附属幼稚園4歳児親子活動の実施

- ・西脇市との連携講座「防災教育－災害が起きたらどうするか・心の傷(トラウマ)とは何か－」の開催
- ・「日韓教育実習プログラム」を韓国の京仁教育大学校・大邱教育大学校で実施
- ・文部科学省徳久政策評価審議官が本学を訪問，学内視察とともに教職大学院学生と懇談
- ・「日米留学交流プログラム」をアメリカ・ウィスコンシン州立大学オークレア校で実施
- ・附属中学校体育祭の開催
- ・加東市との連携講座「子育て支援講座（第3回）親子で科学遊びーお父さんも一緒にー」の開催
- ・科研費説明会の開催
- ・東日本大震災「復興支援ボランティア」の実施
- ・附属中学校PTAが花壇を整備
- ・附属小学校うれしのカーニバルの実施
- <訃報>
- ◇主要日誌 ..... 10

## — 学 事 —

## ○平成25年度大学院学校教育研究科入学試験（8月選抜）合格者状況

平成25年度大学院学校教育研究科入学試験（8月選抜）を8月18日（土）に実施し、9月7日（金）に合格者を発表した。

専攻・コース別の合格者数等は次のとおりである。

課程	専攻	コース		募集 人員	志願者数	受験者数	合格者数	
		クラス						
修 士 課 程	人間発達教育 専攻	教育コミュニケーションコース		昼間クラス	7	8 (3)	7 (3)	7 (3)
				夜間クラス	若干人			
		幼年教育コース		昼間クラス	7	5 (3)	5 (3)	5 (3)
				夜間クラス	若干人	2 (2)	2 (2)	2 (2)
		学校心理・発達健康教育コース		昼間クラス	10	11 (8)	11 (8)	10 (8)
	夜間クラス			若干人	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	臨床心理学コース		昼間クラス	20	74 (6)	73 (6)	31 (4)	
	特別支援教育 専攻	障害科学コース			15	19 (5)	19 (5)	19 (5)
		特別支援教育コーディネーターコース			7	7 (7)	7 (7)	7 (7)
	課 程	教育内容・方 法開発専攻	認識形成系教育 コース	社会系教育分野	昼間クラス	12	9 (3)	8 (3)
				夜間クラス	若干人	1	1	0
			自然系教育分野 (数学, 理科)	昼間クラス	12	22 (7)	21 (7)	17 (7)
				夜間クラス	若干人			
文化表現系教育 コース			言語系教育分野 (国語, 英語)	昼間クラス	14	10 (6)	10 (6)	9 (5)
				夜間クラス	若干人	1	1	1
		芸術系教育分野 (音楽, 美術)	昼間クラス	10	16 (7)	15 (7)	13 (7)	
			夜間クラス	若干人				
行動開発系教育コース スポーツ健康系教育分野(保健体育) 応用生活系教育分野 (技術・家庭, 工業, 情報)		昼間クラス	14	15 (4)	12 (4)	12 (4)		
			夜間クラス	若干人				
小 計				128	203 (62)	195 (62)	144 (59)	
専 門 職 学 位 課 程	教育実践高度 化専攻	学校経営コース		昼間クラス	14	8 (7)	8 (7)	8 (7)
				夜間クラス	若干人	1 (1)	1 (1)	1 (1)
		授業実践開発コース		昼間クラス	20	8 (7)	8 (7)	8 (7)
				夜間クラス	若干人			
		生徒指導実践開発コース		昼間クラス	14	5 (5)	5 (5)	5 (5)
	夜間クラス			若干人				
	小学校教員養成特別コース			20	30	28	25	
小 計				68	52 (20)	50 (20)	47 (20)	
合 計				196	255 (82)	245 (82)	191 (79)	

(注) 1. 志願者数及び受験者数は、第1志望によるものを示す。

2. ( ) 内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書無しを含む)を内数で示す。

## — 人 事 —

## ○人事異動

## 1. 大学教員

## (1) 採用

平成24年10月1日付

職 名 等	氏 名	備 考
助教（行動開発系教育コース）	小 坂 美 保	

## 2. 事務職員

## (1) 配置換

平成24年10月1日付

異 動 後	氏 名	異 動 前
財務課財務企画チーム主任	道 上 隆 生	研究支援課研究支援チーム主任

## (2) 採用

平成24年10月1日付

職 名 等	氏 名	備 考
企画課企画・評価チーム事務補佐員	預 り 佐和子	

## — 諸 報 —

## ○国立大学法人兵庫教育大学役員会

第10回 平成24年9月4日（火）

(議題)

- 1 韓国大邱教育大学校及び韓国京仁教育大学校とのダブルディグリープログラム協定の締結について

第11回 平成24年9月24日（月）

(議題)

- 1 教職員の休職について

## ○国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会

第5回 平成24年9月4日（火）

(議題)

- 1 韓国大邱教育大学校及び韓国京仁教育大学校とのダブルディグリープログラム協定の締結について
- 2 平成25年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔11月選抜〕の学生募集人員について
- 3 平成25年度大学院学校教育研究科（修士課

程）外国人留学生特別選抜（指定校推薦）学生募集要項について

- 4 教員の選考について
- 5 教員の選考開始等について
- 6 学生の懲戒処分について

## ○兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会

第5回 平成24年9月4日（火）

(議題)

- 1 平成24年度前期末修了認定及び卒業認定について
- 2 平成25年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔8月選抜〕の可否判定、理数系教員養成特別プログラム受講許可及び長期履修学生の許可について
- 3 平成25年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔11月選抜〕の学生募集人員について
- 4 平成25年度大学院学校教育研究科（修士課程）外国人留学生特別選抜（指定校推薦）学

生募集要項について

- 5 平成24年度授業科目担当教員の変更等について
- 6 学生の学籍異動について
- 7 科目等履修生の選考について

#### ○連合学校教育学研究科代議委員会

第4回 平成24年9月5日(水)

(議題)

- 1 研究科教員の認定について
- 2 博士候補認定試験の実施について
- 3 平成25年度学生募集要項について

#### ○連合学校教育学研究科教授会

第2回 平成24年9月5日(水)

(議題)

- 1 課程修了による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 2 論文提出による博士の学位授与の可否について
- 3 代議委員会の審議経過について

#### ○小野市との連携講座「将棋で育む知の子育て」の開催

9月1日(土)、コミュニティセンターおのにおいて、小野市との連携講座「将棋で育む知の子育て」を開催し、小野市を中心に親子12組の参加があった。

初めに、講師の人間発達教育専攻の浅川潔司教授から、子どもの知的成長について、小さい頃から将棋などのボードゲームやトランプなどのカードゲームから知的刺激を受けることが重要であり、学力の向上にも繋がることの解説が行われた。

引き続いて、広報・社会連携事務室の谷林径明室長から、将棋の歴史やルールなどの説明が行われた後、受講者は実際に親子で将棋を指しながら、将棋の楽しさに触れた。

将棋を初めて経験するお母さんも、子どもと一緒に駒の動かし方から学ぶなど、経験者も未経験者も熱心に将棋を指し、親子の触れ合いを深める有意義な時間となった。



#### ○台湾教育部、国立台中教育大学、国立屏東教育大学等と兵庫教育大学との「教員養成制度に関する討論会」を開催

台湾の教育部、国立台中教育大学、国立屏東教育大学、国立台北教育大学、台北市立教育大学と本学との「教員養成制度に関する討論会」を9月3日(月)、本学において開催した。

この討論会は、協定校である国立台中教育大学を通して本学に「日本の教員養成制度」について教示願いたい旨の依頼があったものである。

会の冒頭に、加治佐哲也学長が台湾の教育関係者訪問団一行に対し「本学において台湾の教育部の方や4教育大学の学長等をお招きし、このような討論会を開催することは、双方にとって大変意義がある。これを機会に今後ますます台湾との有様な交流関係が築けることを期待したい。」と挨拶を述べ、引き続き、台湾教育部の張明文司長から「今回の私たちの申出に対し快く引受け入れていただき感謝している。」と謝辞が述べられた。

その後、二つのグループに分かれ、台湾側から事前に示されていた「教員養成制度」の課題に基づき、活発な意見交換が行われ、台湾の教育関係者にとっても教員養成改革について関心が高いことが窺われ、有意義な討論会となった。

また、討論会終了後には、本学の食堂において和やかな雰囲気の中昼食会が行われ、今後、本学と台湾の教育大学の連携の強化につながることが期待される。



### ○附属幼稚園愛園作業の実施

9月4日（火）、附属幼稚園において、園児と保護者が草引きや窓拭きなどの掃除を行った。

これに先駆け、夏休み中の8月25日（土）には、PTA環境部を中心に保護者が多数集まり、園内の植木剪定及びテラスマット清掃を行っており、2回の作業を終えて園内隅々まで美しくなった。美しい保育室や園庭で気持ちよく2学期をスタートすることができた。

### ○附属幼稚園と附属中学校の交流会を実施

9月6日（木）、7日（金）の2日間、附属幼稚園において、附属幼稚園4・5歳児と附属中学校3年生との2回目の交流会を行った。

中学生は、7月に実施した1回目の交流時にペアとなった幼稚園児がどんな遊びが好きなのか考えながら夏休み中に玩具を作り、それを持参した。パズルやすごろく、輪投げ、絵本など、手作りの温かみを感じられる様々な玩具を使って一緒に遊び、楽しいひとときを過ごした。



### ○附属幼稚園4歳児親子活動の実施

9月8日（土）、附属幼稚園において、教育実践高度化専攻の淀澤勝治准教授を講師に迎え、4歳児が親子運動遊びを行った。

保護者を木に見立てて登ったり、身体のいろいろな部分を意識した運動で遊んだり、クラス対抗でしっぽとりをしたりして楽しんだ。この活動がさらに家庭での親子のスキンシップにつながるように、幼稚園でも啓発していきたい。



### ○西脇市との連携講座「防災教育－災害が起きたらどうするか・心の傷（トラウマ）とは何か－」の開催

9月9日（日）、西脇市生涯学習まちづくりセンターにおいて、西脇市との連携講座「防災教育－災害が起きたらどうするか・心の傷（トラウマ）とは何か－」を開催した。当日は、西脇市内の幼稚園及び小・中学校の教員や地域住民17人の参加があった。

講師は、人間発達教育専攻の岩井圭司教授が務め、阪神淡路大震災や東日本大震災の事例を交えながら、災害が起きたらどうするか、日頃からのイメージトレーニングの重要性及び災害時の心の傷（トラウマ）について講義を行った。

質疑応答では、受講者から活発に質問が行われ、受講者の防災教育への関心の高さが伝わってくる講座であった。



### ○「日韓教育実習プログラム」を韓国の京仁教育大学校・大邱教育大学校で実施

平成24年度留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジット）の「日韓教育実習プログラム」を9月13日（木）～27日（木）に韓国の京仁教育大学校で、9月15日（土）～28日（金）に大邱教育大学校で実施した。

「日韓教育実習プログラム」は、韓国の学校教育制度を我が国との比較により考察し、特に小学校英語教育、環境教育、ICTを活用した指導法などの先進的な取り組みについて学ぶものである。また、このプログラムは、学部プログラムと大学院プログラムからなり、学部プログラムでは学部生10人が、京仁教育大学校で韓国の小学校での教育実習や授業観察及び韓国の一般家庭のホームステイ、Kポップ体験などを行った。

大学院プログラムでは大学院生18人が、大邱教育大学校で韓国の小学校での授業観察や教員との「日韓の教育現場の課題等」についてのディスカッション及び韓国の民族舞踊等の実地授業体験を行った。

学部プログラムに参加した学生からは「他国の教育現場での授業体験や観察を行うことができ、これからの教育観に影響を受けた。また、韓国の一般家庭での実生活を体験することができ、異文化に対する理解が深まった。」、大学院プログラムに参加した学生からは「2週間という期間ではあったが、日々多くのことを学ぶことができ、刺激を受けた。特に小学校での英語教育の授業観察や伝統文化体験を行うことができ、教師としての視野を広げることが

きた。」等の感想が寄せられた。

このプログラムを通じて、実際に自分の目で韓国の教育を見て体感することで、日本の教育について改めて見つめ直す機会となる貴重な体験となった。



### ○文部科学省徳久政策評価審議官が本学を訪問、学内視察とともに教職大学院学生と懇談

9月14日（金）、文部科学省の徳久政策評価審議官が本学を訪れ、施設の視察とともに教職大学院学生との懇談を行った。

当日は、教職キャリア開発センターや教育行政能力育成カリキュラム開発室の見学、専門職学位課程（教職大学院）学生との懇談などが行われた。

また、その夜は学内で開催された地元加東市主催の「名月 名曲 名酒の夕べ」に加治佐哲也学長とともに参加し、加東市など地域の方との親睦を深められた。



### ○「日米留学交流プログラム」をアメリカ・ウィスコンシン州立大学オークレア校で実施

平成24年度留学生交流支援制度(ショートステイ・ショートビジット)の「日米の国際理解, 外国語活動をリードできる小学校教員養成のための留学交流プログラム(日米留学交流プログラム)」を9月15日(土)～28日(金)に, アメリカのウィスコンシン州立大学オークレア校で実施した。

このプログラムは, 学部学生の教員養成, 特に小学校の外国語教育, 国際理解教育の指導力の向上を目的としたもので, 今回は学部学生8人が参加し, 大学で英語レッスンや講義を受講したり, ホームステイをしながら現地の小学校や中学校で日本文化の紹介をするなどの実習を行った。

前半は, 大学での講義や英語レッスンのほか, ウィスコンシン州立大学オークレア校やオークレア市内の博物館等の見学, スカネック教育人間科学部長との懇談も行われ, 少し緊張しながらも積極的にコミュニケーションを図る学生の姿が見られた。

後半は, オークレア市及びその近郊でホームステイ及び小・中学校での授業実習等を行った。小・中学校では, 日本の生活様式や, 折り紙, 着物, 剣道等についての紹介を行い, 現地の子どもたちは実際に紙ひこうきやカブトを作ったり, 着物を着てみたりするなど, 普段触れることのない日本文化に強く興味を持ち楽しんでいる様子であった。

参加者からは, 「大学も含め, 日本とは違う学校のあり方を見ることができ, 非常に刺激になった。」

「日本の学校と共通する点もあり, 今回の経験を教育実習等に活かしていきたい。」「歴史的に異なる出自を持つ人たちが, お互いのアイデンティティーや考え方を尊重しながら暮らしており, 異文化を受容する姿勢は多角的な視点を養ううえで見習うべきところが多いと感じた。」などの声が寄せられ, 2週間という短い期間のなかでも得たものの多い実習となった。



### ○附属中学校体育祭の開催

9月15日(土), 附属中学校において, 第31回体育祭を開催した。

「夢限大(むげんだい)ー輝け! 汗と涙の結晶ー」というテーマのもと, 生徒会役員を中心に1年生から3年生まで全員が真剣に競技に取り組み, 応援合戦では赤・黄・青の各色応援団が熱い思いに溢れる応援合戦を繰り広げた。最後は, 体育祭を引っ張ってきた3年生, 生徒会及び応援してくれた保護者に感謝し, 自分自身の健闘を称え, 拍手をして幕を閉じた。



### ○加東市との連携講座「子育て支援講座(第3回)親子で科学遊びーお父さんも一緒にー」の開催

9月16日(日), 加東市やしろこどものいえにおいて, 加東市との連携講座「子育て支援講座」を開催した。

この講座は、全4回実施するもので、第3回目となる今回は、教育内容・方法開発専攻の山口忠承准教授が、「親子で科学遊びーお父さんも一緒にー」と題し、「空気」をテーマにうちわや風船を使った科学遊びを行った。

講座はうちわ作り、バルーンアート用の風船を使った「剣」や「ロケット」作りなど、工作を中心に進められ、会場は、ふれあいを楽しむ親子の歓声と子ども達の笑顔で溢れ、盛況のうちに終了した。



### ○科研費説明会の開催

9月18日（火）、共通講義棟において、科研費説明会を実施し、教職員22人が参加した。

この説明会は、科研費の申請、獲得及び公的研究費の適正な使用を図ることを目的として実施したもので、当日は福本謹一理事・副学長の挨拶の後、教育内容・方法開発専攻の今井裕之准教授から「科学研究費助成事業申請に関する自身の取り組みについて」と題した講演を行った。

今井准教授は、これまでの科研費の採択経験を基に、研究計画調書作成の留意点などについてわかりやすく解説し、特に申請書作成経験の少ない研究者にとっては大変参考になる内容であった。

また、研究支援課から「科研費の応募について」、財務課から「不正防止について」の説明が行われ、科研費申請、獲得及び公的研究費の執行に役立つものとなった。



### ○東日本大震災「復興支援ボランティア」の実施

9月18日（火）から21日（金）までの4日間、大学からの募集に応じた学生30人が宮城県南三陸町及び気仙沼市において、東日本大震災復興支援ボランティア活動を行った。

このボランティア活動は昨年に引き続き行うもので、今年は応募者が48人と多数あり、抽選で選ばれた男子15人、女子15人が参加した。

19日（水）は、南三陸町の漁港において漁業支援として、ホタテやワカメの養殖用筏の重りに使う重さが50kgはあると思われる土嚢を約900個、小さな土嚢を約800個作った。

シャベルやスコップを使って採石を袋に入れる作業は重労働であったが、学生たちは現地の漁師さんやボランティアスタッフとの会話を楽しみながら笑顔で作業を行った。

20日（木）は、気仙沼市の海岸において海岸清掃と駐車場の整備を行った。

海水浴場であった砂浜に砂はなく、大きな石や砂利、木片が堆積しており、仕分けをしながら清掃を行った。また、駐車場整備は、今後のボランティアが活動しやすくするため、石やコンクリート片を撤去し、併せて草刈りを行った。

両日とも作業終了後は、現地のボランティアスタッフからこれまでの体験談を聞き、写真や映像なども見せていただき、メディアが伝えていないことや現地へ行かなければ知ることのできない事実を知った。

参加した学生たちは、現地へ入る前は「自分には何ができるか」と少し構えたところがあったようだが、



ボランティア団体代表の「活動の前後で大きな変化が見えなくても一人の人が石を一つ動かすだけで、全体では何万個もの石が動いています。」とのお話を聞き、少し安心した様子であった。

今回の活動を終えて、学生たちからは、「私が考える最も基本的な復興支援とは、忘れないこと」、「現地を見て感じたことを他の人々に伝え、広めていくこと」、「自分一人の活動で大きな成果を求めるのではなく、その時々自分にできる活動を行い、次のボランティアの方々につないでいく気持ちが大切」、また普段は話すことのない学部生や大学院生と話したり、一緒に活動することができ、「本当に参加してよかった」などの感想が寄せられた。

行き14時間、帰りは16時間を超えるバスでの移動は厳しいものであったが、今回のボランティア活動を通して、学生たちは被災地復興への思いを強くしたようであった。



### ○附属中学校PTAが花壇を整備

9月27日（木）、附属中学校において、PTA環境部が花壇の整備を行った。

来年度の入学式を鮮やかに飾るため、生徒玄関前花壇には赤、白、黄及びピンクのチューリップの球根約400球を、さらに職員玄関横花壇にもアネモネなどを植え付けた。来年春には、正面玄関周辺が訪れた人々の心を癒やす場となる。



### ○附属小学校うれしのカーニバルの実施

9月29日（土）、附属小学校において、「努力の結晶 光輝く感動に ～つなげよう 附小の伝統～」のテーマのもと、第27回うれしのカーニバルを実施した。

附属小学校のカーニバルは、身体的な表現を中核とした総合学習（集団表現領域）の発表の場として、また、綱引きやリレー等のスポーツに全校生で親しむ場として位置付けられている。ミュージカルでは、「生きることは表現すること」と考え、1学期から児童と教師がともに創り上げてきた、身体・音楽・言語・造形が一体となった表現を全児童が精一杯発表した。また、リレー・綱引き・玉入れ・大玉運び等の色別の対抗種目では、どの組も持てる力を出し切った。本年度は、これまでのうれしのスポーツで積み上げてきた得点を守りきって、赤組が熱い戦いを制した。

全力を出し切った子どもたちに会場からは大きな拍手が鳴り響き、子どもたちの表情には、やりきった満足感と表現しきった充実感があふれていた。



## &lt;訃報&gt;

人間発達教育専攻教授 安部 崇慶 氏(享年62歳)は、平成24年9月9日(日)逝去されました。

ここに、深く哀悼の意を表し謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

## － 9 月 主 要 日 誌 －

月 日	事 項
9月1日(土)	小野市との連携講座「将棋で育む知の子育て」
3日(月)	大学院学校教育研究科教務委員会(第5回) 学校教育学部教務委員会(第5回)
4日(火)	役員会(第10回) 教育研究評議会(第5回) 研究科・学部教授会(第5回)
5日(水)	連合学校教育研究科代議委員会(第4回) 連合学校教育研究科教授会(第2回)
6日(木)	学校教育学部入学試験委員会(第2回)
7日(金)	平成25年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験(8月選抜)合格者発表
8日(土)	大学院説明会(神戸) 免許法認定公開講座「肢体不自由児心理・指導法」(~9日)
9日(日)	西脇市との連携講座「防災教育-災害が起きたらどうするか・心の傷(トラウマ)とは何か-」
13日(木)	日韓教育実習プログラム(京仁教育大学校)(~27日)
15日(土)	大学院説明会(東京) 日韓教育実習プログラム(大邱教育大学校)(~28日) 公開講座「絵画制作」(~16, 22~23日)

	附属中学校体育祭(第31回)
16日(日)	加東市との連携講座「子育て支援講座(第3回)親子で科学遊び-お父さんも一緒に-」
18日(火)	科研費説明会 東日本大震災「復興支援ボランティア」(~21日)
19日(水)	学長選考会議(第4回) 都道府県連携推進本部会議(第3回) NANAつくす運営会議(第3回) 実践で学ぶ子育て支援(まちなかの寺子屋師範塾)(9月開催分)
22日(土)	大学院説明会(京都・福岡)
24日(月)	前期末学部卒業生学位記授与式 前期末学校教育研究科修了生学位記授与式 連合学校教育学研究科前期修了生、論文提出による博士の学位記授与式役員会(第11回) ファカルティ・ディベロップメント・推進委員会(第3回)
26日(水)	大学院学校教育研究科教務委員会(第6回) 学校教育学部教務委員会(第6回) 大学院入学試験委員会(第5回)
28日(金)	企画運営会議(第5回) 学生委員会(第4回) 免許状更新講習推進室会議(第3回) NANAつくす子どもフェスタ(第14回)
29日(土)	大学院説明会(神戸) 附属小学校うれしのカーニバル(第27回)

編集発行 兵庫教育大学総務部企画課

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電話 (0795) 44-2334

http://www.hyogo-u.ac.jp/